

令和4年度

「新技術・新工法説明会」

実施概要および
アンケート調査結果

国土交通省 九州地方整備局

目次

§ 1. 概要

1. 開催主旨・概要	1
2. 実施内容	1
3. 実施状況	3

§ 2. 聴講者アンケート調査結果

1. 有効回答数の内訳	6
2. 募集情報の入手先	7
3. 説明会参加の目的	8
4. 希望する開催時期	9
5. 今後の参加	10
6. 発表された新技術の説明への理解度	12
7. 発表者が登壇しない動画等による新技術の説明への理解度	14
8. NETIS の検索	15
9. 今後の新技術の活用	17
10. 発表された新技術（NETIS）の今後の活用	19
11. 説明会で今後、提供してほしい情報	20
12. 情報提供を希望する技術のジャンル	21

§ 3. 発表者アンケート調査結果

1. 募集情報の入手先	22
2. 出展者企業の業種	22
3. 開催の時期	22
4. プレゼンテーションの時間	23
5. 今後の説明会への参加	23

§ 1. 概要

1. 開催主旨・概要

新技術・新工法説明会は社会資本整備に寄与する新技術・新工法を知っていただくことにより、公共工事での新技術の活用促進を図るとともに、新たな技術開発を促進することを目的として開催しています。

令和4年度の「新技術・新工法説明会」は、令和2年度以降、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から例年実施しているブース展示を取りやめ、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底したうえで、九州地方整備局より「新技術情報提供システム（NETIS）の活用状況等について」の講演と NETIS 登録企業等による登録技術のプレゼンテーション 127 技術（7 会場合計）を行い、延べ 884 名に参加いただきました。

プレゼンテーションは動画等の上映による発表も可能とし、127 技術のうち、4 技術は動画等の上映による発表でした。開催後、コロナ感染の報告もなく、無事に終わることができました。

2. 実施内容

◆開催期間：令和4年10月～令和4年12月

◆開催場所：九州各県

◆開催回数：7回

◆開催内容：

- ・新技術情報提供システム（NETIS）の活用状況等について（九州地方整備局）：各会場共通
- ・NETIS 登録技術のプレゼンテーション（NETIS 登録企業）：1会場 17～19 技術

□ 発表技術 127 技術（7 会場合計）

（来場による発表：123 技術、動画等の上映発表：4 技術）

ブロック	開催地	開催日時	会場名	プレゼンテーション技術数		
				来場発表	動画等上映	合計
宮崎	宮崎市	令和4年10月5日(水)	宮崎市民文化ホール 1F【イベントホール】	16	1	17
長崎	長崎市	令和4年10月20日(木)	長崎ブリックホール 3F【国際会議場】	17	1	18
鹿児島	鹿児島市	令和4年10月28日(金)	鹿児島県市町村自治会館 4F【ホール】	19	0	19
佐賀	佐賀市	令和4年11月2日(水)	佐賀市文化会館 1F【イベントホール】	18	0	18
大分	別府市	令和4年11月16日(水)	別府国際コンベンションセンター B-CON PLAZA 3F【国際会議室】	16	1	17
熊本	熊本市	令和4年11月22日(火)	くまもと県民交流館パレア 10F【パレアホール】	18	1	19
福岡	福岡市	令和4年12月5日(月)	福岡県自治会館 2F【大会議室】	19	0	19
合計				123	4	127

会場別のNETIS登録技術のプレゼンテーションは以下の通りです。

No	登録No	令和4年10月5日 宮崎会場発表技術
1	QS-190016	VE 路面性状調査 メジャーロードカー
2	QS-200051	A ソーラー監視カメラシステム(みるかめ君)
3	QS-200021	A ソーラー充電式LED街路灯「恵みの光」
4	QS-200050	A 水位・水質・気象データ等クラウド監視システム「わかるくん」
5	KK-220016	A KTB・圧縮型ショートアンカー工法
6	KK-120044	VE 土木用摩擦低減材
7	QS-190055	A ネイレー(根入ブロック)
8	CB-220014	A レジレントパイプ工法
9	SK-190007	A セミディープウェル工法
10	QS-200028	A 土石流検知アラートシステム
11	QS-190039	A タケミックスソイル緑化工法(竹繊維植生基材吹付工)
12	KK-180012	VR ウォーターカッター
13	KT-220070	A スロープセイバー
14	KK-200058	A 360° LEDヘッドライト「HALO(ヘイロー)」
15	KT-220004	A JWMシステム(Jet Wave Monitoring System)
16	QS-210065	A ポリウレタン樹脂を用いたコンクリート構造物の機能保持・向上技術「タフネスコート工法」
17	KK-210061	A パネルユニットシステム吊り足場工法「TOBISLIDE(トビスライド)」

No	登録No	令和4年10月20日 長崎会場発表技術
1	CB-210003	A アンカーネット工法
2	CG-190005	A PRMSカラー工法
3	KK-190004	A 遮水シート一体化型ブロックマット
4	QS-210052	A 建設生産プロセス改善のためのIoTオープンプラットフォーム「ランドログプラットフォーム」
5	KT-190039	A AI搭載型カメラ自動判別警報器
6	KT-190121	A エコミックス
7	KK-210070	A 水中機器用フロートケーブル
8	QS-200026	A 遠隔臨場検査監視システム(アテネット)
9	KT-210007	A 逆T型CFT並列防護機壁
10	KK-190028	VE 自由設計可能な透明型枠「透(クリア)フォーム」
11	KT-220034	A コンクリート構造物補修材料EXGRiベアシリーズ
12	QS-170038	A FeS灰改良基礎工法
13	KT-210005	A こんこん(連続打音検査装置)
14	HK-220002	A グランドセル砕石舗装工法
15	SK-190001	A フラッシングコアによる副側溝工法
16	OK-150002	VR 上部フレアを用いた既設護岸改良工法
17	KT-130044	VE 早期交通開放型コンクリート舗装(1DAY PAVE)
18	KT-210020	A マルチビーム一体型深淺測量無人リモコンボート

No	登録No	令和4年10月28日 鹿児島会場発表技術
1	QS-150032	VE 循環式ハイブリッドプラストシステム
2	QS-200017	A 河川洪水や高潮対策に対応可能な鋼製止水壁
3	KT-220028	A リアルタイム洪水予測システム(RiverCast)
4	QS-200016	A コンクリート補強用ナイロン繊維(ニュークリートセカンド)
5	KT-220058	A アルカリ法面緑化用液状中和剤「ドクターペーパー液剤」
6	KT-190128	A 高圧CSB
7	QS-190014	A SLVアンカー(スリーブ打込み式メネジアンカー)
8	KK-190002	A ノルトロックワッシャー
9	KT-190005	A 蒸気圧破砕薬用IC段着火具
10	SK-220004	A ピン接続SqC長尺橋梁工法
11	KT-190097	A 傾斜監視クラウドシステム(OKIPPA)
12	KK-130026	VE 走行型高速3Dトンネル点検システム MIMM(ミーム)
13	QS-220002	A 自己治療機能型高性能収縮低減剤「パワーヒーリングーAD」
14	KK-170018	A プレキャストPCT橋橋「SCBR工法」
15	OK-170003	A エポキシ樹脂で被覆したPC鋼より線を用いた金属製グラウンドアンカー
16	OK-170002	VR 侵食防止及び植生の自然侵入促進をはかる土壌選別資材
17	CBK-210001	A 地下空洞、空間の充填技術「ジュウテンバッグ工法」
18	KT-190078	A shamen-net計測情報提供サービス
19	KT-210001	A Fハイバー工法

No	登録No	令和4年11月2日 佐賀会場発表技術
1	KT-180106	A 鋼板欠損探査装置
2	QS-210009	A 中圧噴射機械攪拌工法(MITS工法CMS-ICTシステム)
3	QS-210060	A 高耐久材料を用いた薄型・軽量な歩道床版「ESCON歩道床版」
4	KT-210092	A デジタルカメラ三次元計測システムPIXIS2
5	QS-200056	A 水中ポンプ自動制御ユニット(オートポンプユニット)
6	HK-220001	A CSDレーン工法
7	CG-210016	A 耐震耐風目隠し通風フェンス(カクスルー)
8	KT-200003	A 円形鋼管切梁「Circular Strut」
9	KT-210038	A ハイパーボード(耐衝撃性車止めポール)
10	KT-210104	A ワイヤロープ式防護柵用支柱カバー
11	TH-160010	VR 吸水性泥土改良材「ワトル」
12	KT-130010	VE フル・ファンクション・ペーパー(FFP)
13	KT-200075	A ハイドロスタッフ工法
14	KK-220014	A STEP-IT工法
15	KT-220032	A 後付衝突警報及び車線逸脱警報装置「モービルアイ」
16	KK-220028	A フラットパー付鉄敷板
17	QS-200063	A 柵れにく(走行・歩行しやすい芝生舗装「ハニカムグリーン」)
18	CB-120037	VE 水圧四面梁

No	登録No	令和4年11月16日 大分会場発表技術
1	CG-160007	VE 連続鉄筋コンクリート舗装用斜交メッシュパネ
2	KT-150026	VE お天気クラウド・工事現場の気象対策サービス
3	CB-210014	A 中性型水系剥離剤ECO「STRIPPER」
4	KT-170018	A ペントナイト砕石 NB工法
5	HK-160018	A テラグリッド補強土工法
6	KT-210041	A 改質アスファルト系高耐久保護シート「アスガード」
7	KT-220061	A フォームサポート工法
8	KT-190091	A 鉄筋腐食非破壊検査装置
9	CB-210010	A ICR処理工法
10	KT-210030	A どこでもカメラ
11	HK-170005	A ハイブリッドエポキシ樹脂
12	KT-170031	VR つる性雑草侵入防止工法(つるガード工法)
13	KK-220021	A 流速・流量計測システム【Hydro-STIV】
14	QS-210051	A 省スペース設置対応伸縮装置
15	KK-150002	VE 先行手掘り工法クサ足場(商標名:アルパトロス、トリプルエース、オクトシステム)
16	GSK-220002	A 生分解性土のう袋
17	HK-140002	VE 橋梁用埋設型排水柵

No	登録No	令和4年11月22日 熊本会場発表技術
1	HK-190010	A 下部水密可動式無動力自動開閉ゲート
2	KT-120108	VR リバップ工法
3	KT-210065	A ポンドVMクリア工法
4	KT-190076	A 超耐シーラーTF2000
5	KK-220029	A 特定小電力によるレバー式水位計
6	KT-120094	VE G棧橋
7	CG-220002	A デジタル重量計「トラスケ」
8	KK-210066	A IRIワイヤレス路面測定技術「ACTUS」
9	KT-210047	A STB-ICT精度改良工法
10	KT-180002	A TFバリア
11	KK-210040	A 壁面走行ロボットを用いたコンクリート点検システム
12	CB-170021	A 伸縮装置及び床版防水の一体化工法(ARCHIST ONEPIECE-GEL SYSTEM工法)
13	KT-200148	A 超低空頭場所打ち杭工法
14	KT-220046	A 耐震性・耐風圧性能を向上させた瓦工法
15	KT-200064	A 雑音表示板
16	KT-190109	A HRC矢板(H杭式コンクリート矢板)
17	SK-170007	VR 簡易路面調査システム スマートイーグル
18	CG-220006	A BSCマット
19	KT-220064	A コンクリートのスランブ保持剤「ヤマソー2020」

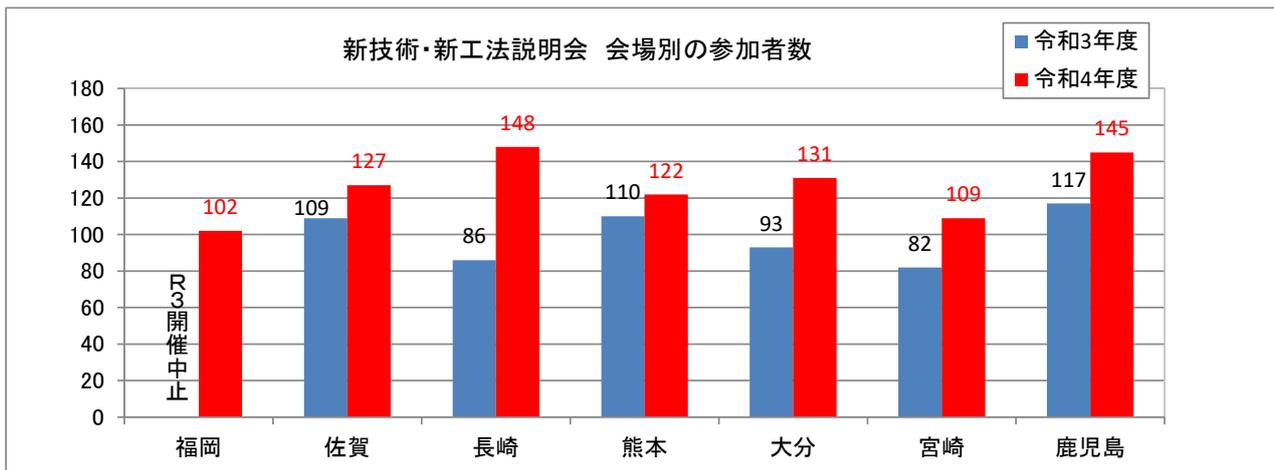
No	登録No	令和4年12月5日 福岡会場発表技術
1	QS-150021	VE 自然災害防災システム ZEROSAI
2	QS-200023	A ロックユニット(高拘束耐波型袋詰玉石工)
3	QS-200020	A 補強型コンクリートはく落防止工法
4	KT-200134	A 遠隔操縦式草刈機「ROBOCUT」
5	QS-200062	A 安定計測電液式水位計
6	QS-150001	VE NCシヨット
7	CG-170009	A 2液混合型けい酸塩系表面含浸材CS-21ビルダー
8	QS-200039	A 透水性保水型路盤材(ATTAC路盤材)
9	KK-160028	VE ハントレ工法
10	KT-180037	A ICECRETE(アイスクリート)工法
11	KK-220026	A TPD工法
12	KT-220015	A 膨潤型超微粒子複合シリカグラウト「ハイブリッドシリカ・シリーズ」
13	TH-170010	VE GNSSステアリングシステム
14	QS-200022	A ARを活用した見える化工事看板「ARIBO(アリボ)」
15	KK-220032	A エコルミナス80
16	KT-210101	A 迅速に設置可能な切土工事の防護柵(メッシュウォールガード工法)
17	KT-220048	A 舗装出来形デジタカメラ検測システム
18	QS-210048	A L型安定止水材「ピタッとL型止水テープ」
19	QS-180029	A アンカー削孔中心表示治具

3. 実施状況

令和4年度の参加者数は884名でした。所属別の参加割合はどの会場においても、建設コンサルタントが高く、建設コンサルタント・施工者が全体の80%を占めている状況です。

会場	所属	令和4年度合計		所属内訳						令和3年度参加者数 発表者等含む
		発表者等含む	発表者等除く	九地整	地方自治体	建設 コンサルタント	施工者	その他	発表者等	
宮崎	令和4年10月5日(水)	109	72	3	1	39	23	6	37	82
長崎	令和4年10月20日(木)	148	116	4	2	56	44	10	32	86
鹿児島	令和4年10月28日(金)	145	109	2	5	50	47	5	36	117
佐賀	令和4年11月2日(水)	127	88	1	2	40	32	13	39	109
大分	令和4年11月16日(水)	131	101	5	1	47	37	11	30	93
熊本	令和4年11月22日(火)	122	91	7	1	45	31	7	31	110
福岡	令和4年12月5日(月)	102	69	5	0	33	31	0	33	開催中止
計		884	646	27	12	310	245	52	238	597

※発表者等は発表者・発表随行者・事務局を示す。

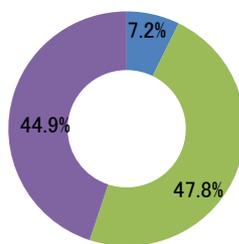


【所属別の参加者の内訳】 ※発表者等除く

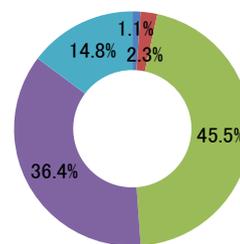
【全体】



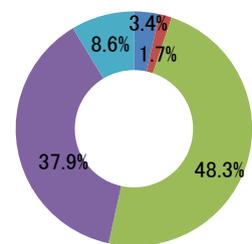
【福岡】



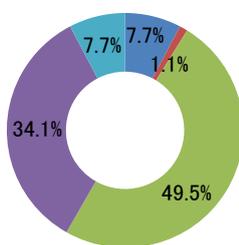
【佐賀】



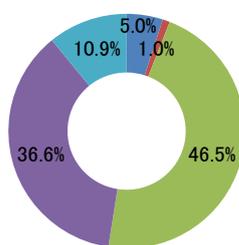
【長崎】



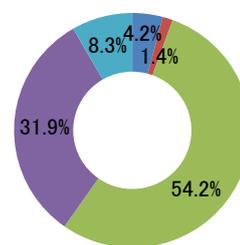
【熊本】



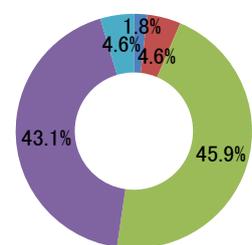
【大分】



【宮崎】



【鹿児島】



【令和4年度 実施状況】



開会挨拶



新技術（NETIS）の活用状況等の説明



福岡会場の状況



佐賀会場の状況



長崎会場の状況



熊本会場の状況



大分会場の状況



宮崎会場の状況



鹿児島会場の状況

◆コロナ禍での取り組み（令和2年度より実施）

- ・ 動画等の上映によるプレゼンテーションを実施
- ・ ブース展示の代替としてカタログ等配布スペースを確保



動画等の上映による
プレゼンテーション



ブース展示の代替として
カタログ等の設置

◆新型コロナウイルス感染拡大防止の各種対策

- ・ 会場収容定員の50%以下を説明会の定員として実施
- ・ 飛沫防止シートの設置、手指の消毒、ソーシャルディスタンスの確保
- ・ 参加者に対して非接触型体温計を用いた検温の実施
- ・ 座席は基本的に千鳥配置
- ・ 演台にアクリル板を設置、発表者ごとにマイク、アクリル板、使用機器等の消毒を実施
- ・ 時差退場を実施



座席を千鳥に配置



飛沫防止シート設置



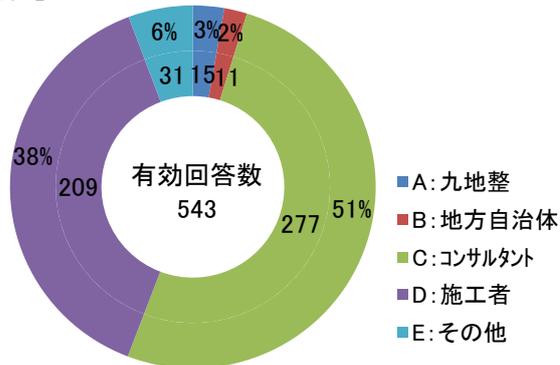
時差退場

§ 2. 聴講者アンケート調査結果

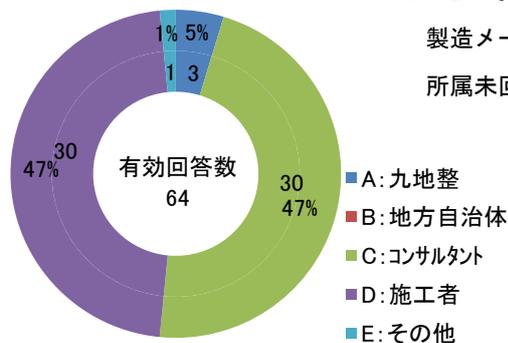
1. 有効回答数の内訳

実施期間 令和4年10月～12月
 調査対象 新技術・新工法説明会の受講者
 調査方法 聴講者にアンケート用紙を配布し回収した。
 集計数 543件

【全体】

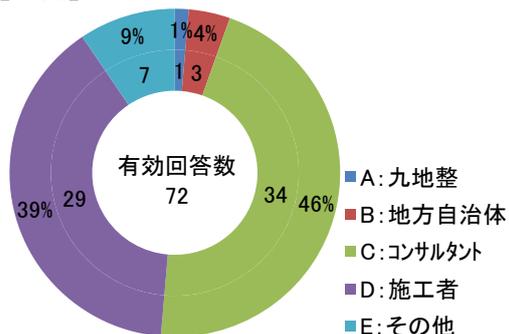


【福岡】

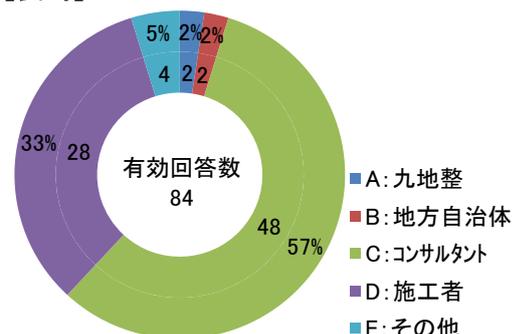


※「E: その他」は
製造メーカー、
所属未回答を含む。

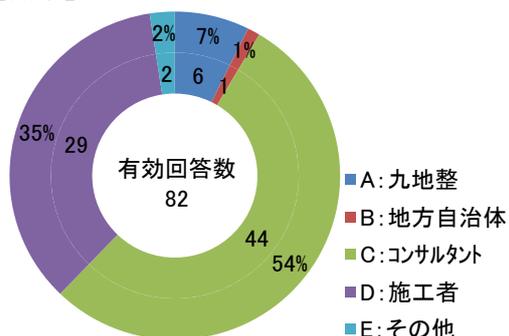
【佐賀】



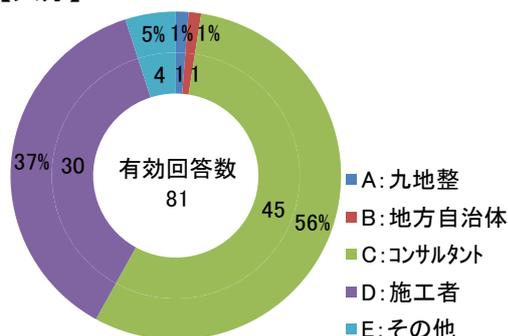
【長崎】



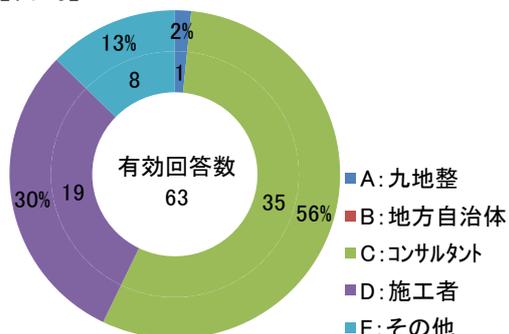
【熊本】



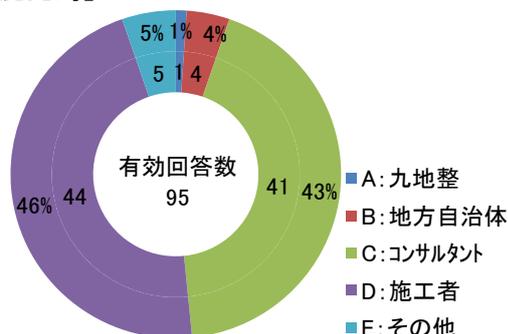
【大分】



【宮崎】



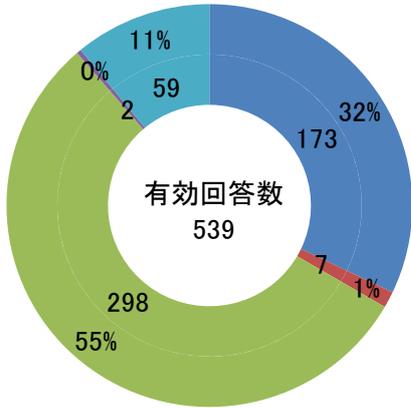
【鹿児島】



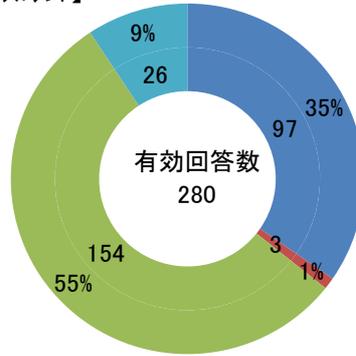
2. 募集情報の入手先

- ・情報の入手先は、加盟団体等からの情報が55%を占める。
- ・「その他」の内訳は、発注者からの情報および所属先からの情報が主であり、加盟団体等を含めると66%を占める。

【全体】



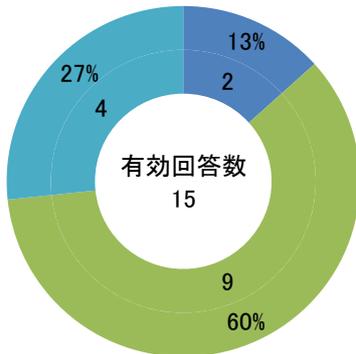
【コンサルタント】



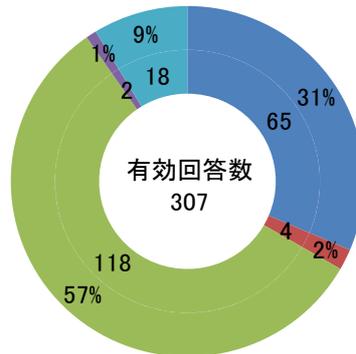
- A: ホームページ
- B: 新聞
- C: 加盟団体等
- D: SNS
- E: その他

- A: ホームページ
- B: 新聞
- C: 加盟団体等
- D: SNS
- E: その他

【九地整】



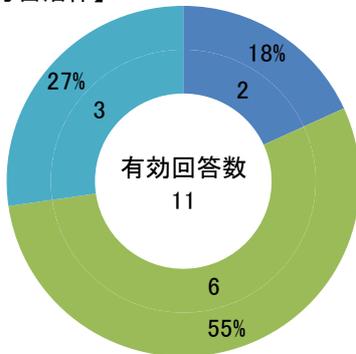
【施工者】



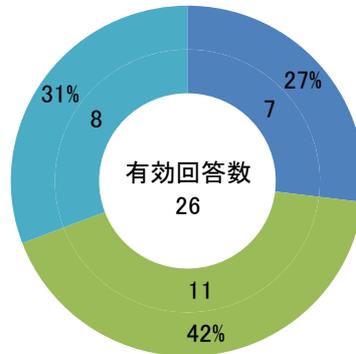
- A: ホームページ
- B: 新聞
- C: 加盟団体等
- D: SNS
- E: その他

- A: ホームページ
- B: 新聞
- C: 加盟団体等
- D: SNS
- E: その他

【地方自治体】



【その他】



- A: ホームページ
- B: 新聞
- C: 加盟団体等
- D: SNS
- E: その他

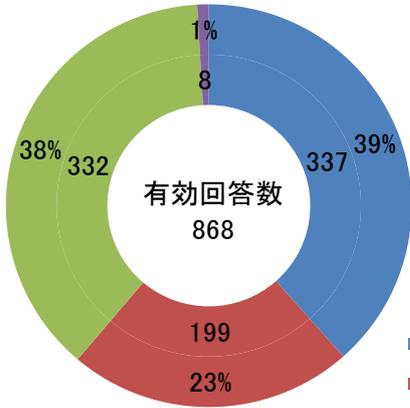
- A: ホームページ
- B: 新聞
- C: 加盟団体等
- D: SNS
- E: その他

3. 説明会参加の目的

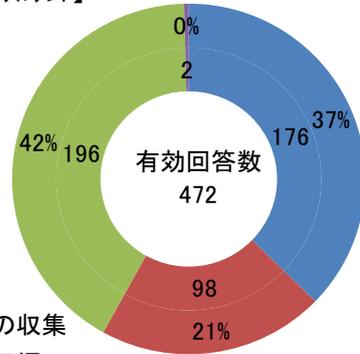
(複数回答可)

- ・ 新技術情報の収集が 39% を占める。
- ・ 次いで CPD 取得が全体の 38% を占め、コンサルタント、施工者がほとんどである。

【全体】



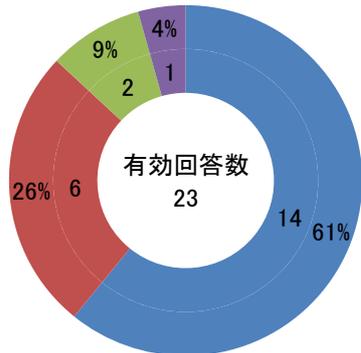
【コンサルタント】



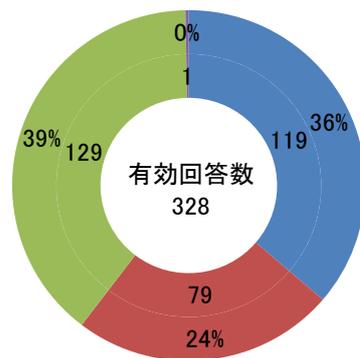
- A: 新技術情報の収集
- B: 活用状況の把握
- C: CPD取得
- D: その他

- A: 新技術情報の収集
- B: 活用状況の把握
- C: CPD取得
- D: その他

【九地整】



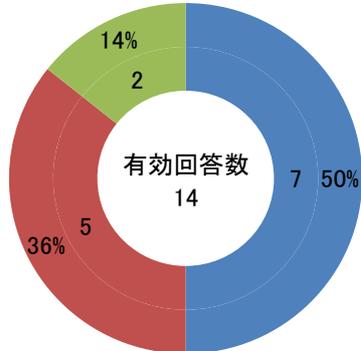
【施工者】



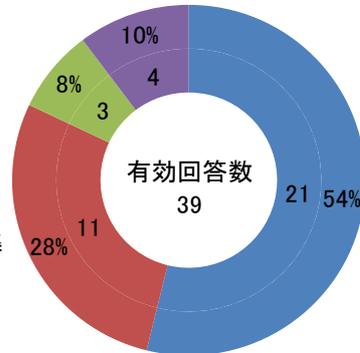
- A: 新技術情報の収集
- B: 活用状況の把握
- C: CPD取得
- D: その他

- A: 新技術情報の収集
- B: 活用状況の把握
- C: CPD取得
- D: その他

【地方自治体】



【その他】



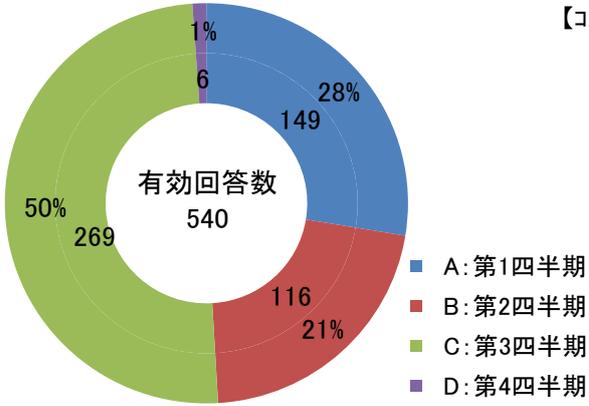
- A: 新技術情報の収集
- B: 活用状況の把握
- C: CPD取得
- D: その他

- A: 新技術情報の収集
- B: 活用状況の把握
- C: CPD取得
- D: その他

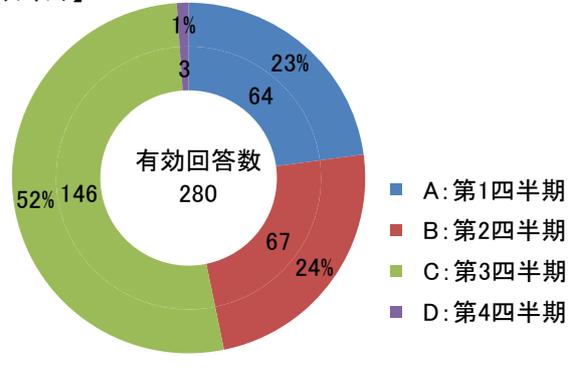
4. 希望する開催時期

- ・希望する開催時期は、第3四半期が50%で半数を占め、どの業種においても高い。
- ・次に多いのが第1四半期で28%である。

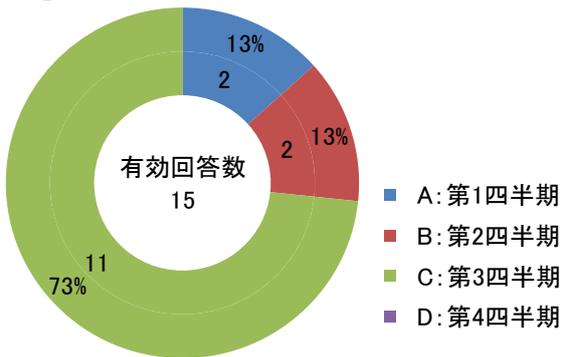
【全体】



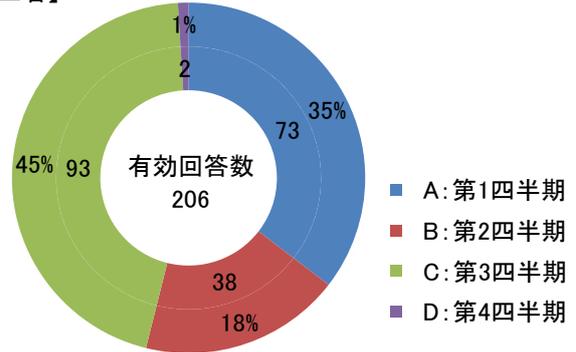
【コンサルタント】



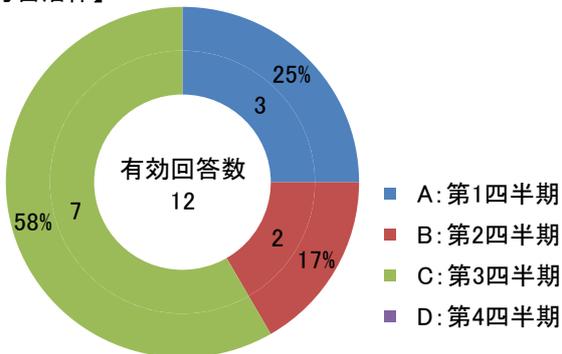
【九地整】



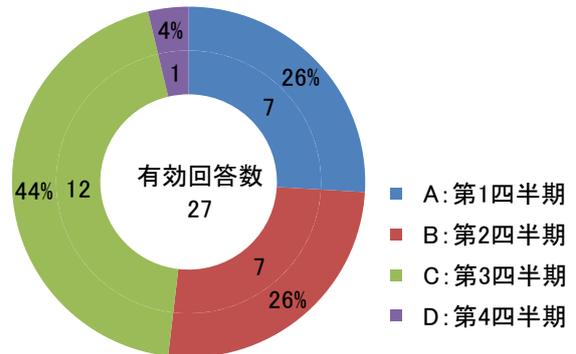
【施工者】



【地方自治体】



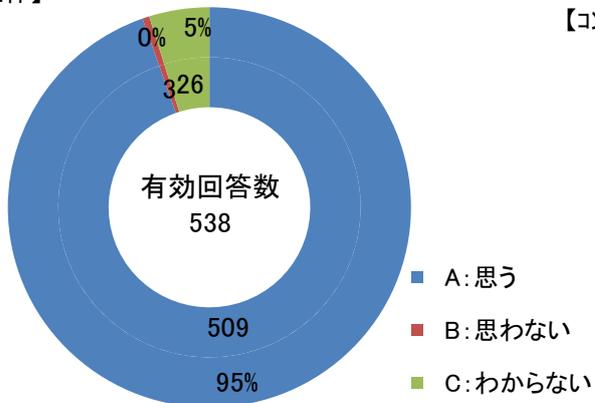
【その他】



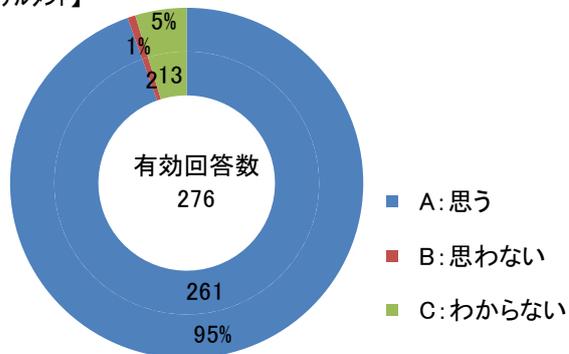
5. 今後の参加

・ 今後同様の説明会を企画した場合の参加は、95%が希望している。

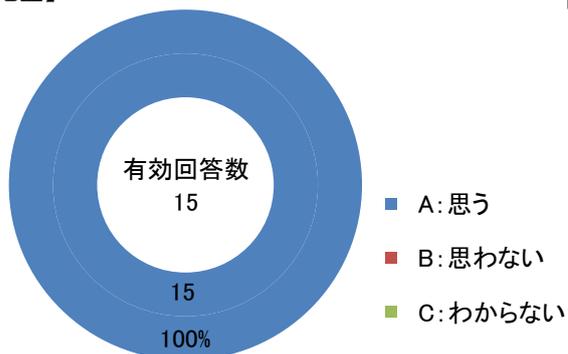
【全体】



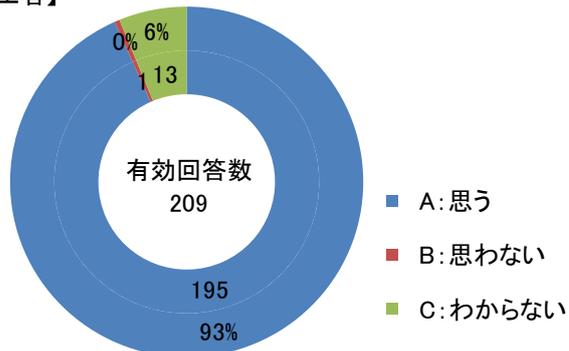
【コンサルタント】



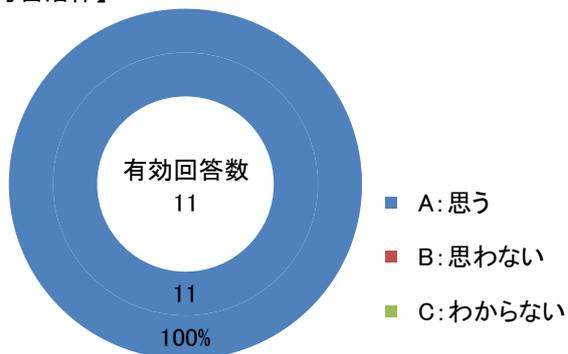
【九地整】



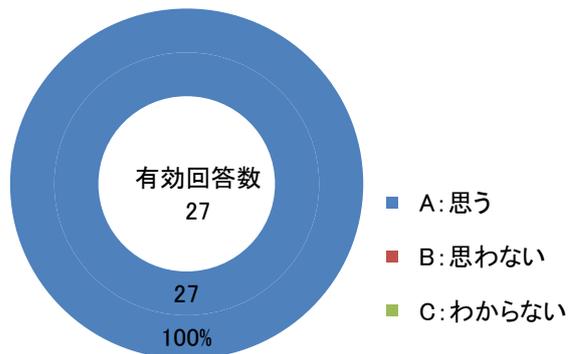
【施工者】



【地方自治体】



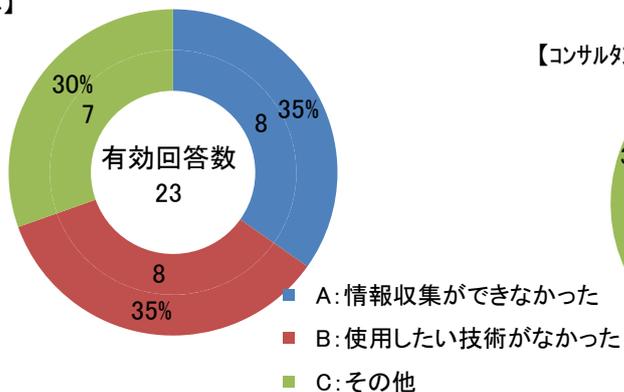
【その他】



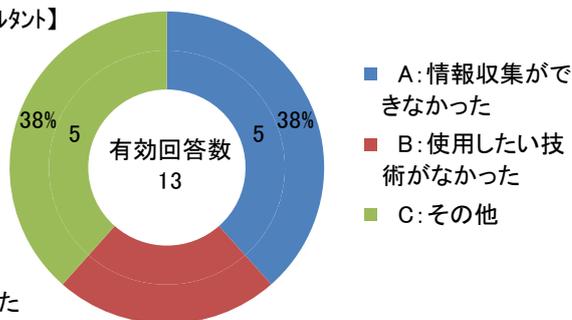
5-1. 今後の参加を希望しない理由

- ・少数の回答数であるが、今後の参加を見合わす理由として、35%が「情報収集ができなかった」、35%が「使用したい技術がなかった」、その他が30%であった。
- ・その他の理由として、「開催時期の現場や業務等による」、「説明会の内容による」「対面での必要性を感じられない」等の意見であった。

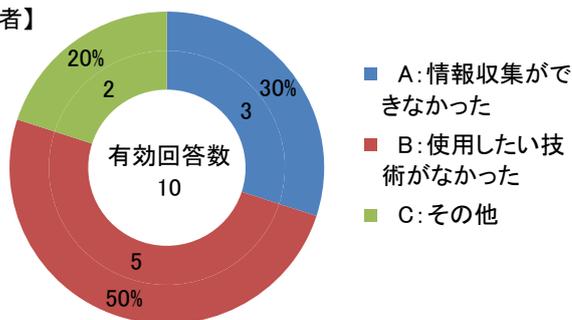
【全体】



【コンサルタント】



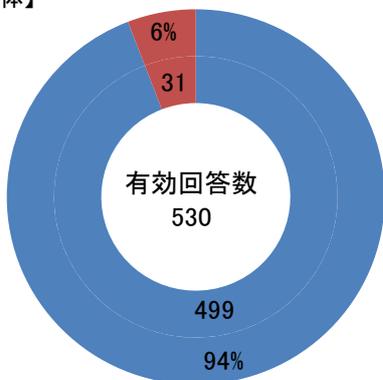
【施工者】



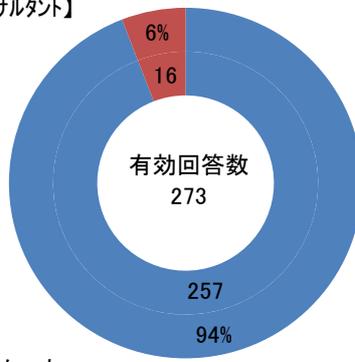
6. 発表された新技術の説明への理解度

・ 94%の方が理解している。

【全体】



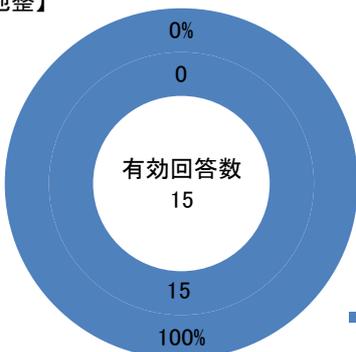
【コンサルタント】



■ A: 理解できた
■ B: 理解できなかった

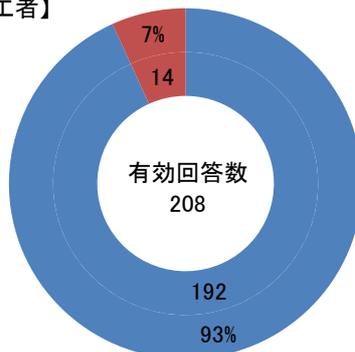
■ A: 理解できた
■ B: 理解できなかった

【九地整】



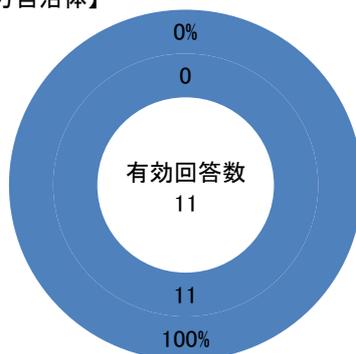
■ A: 理解できた
■ B: 理解できなかった

【施工者】



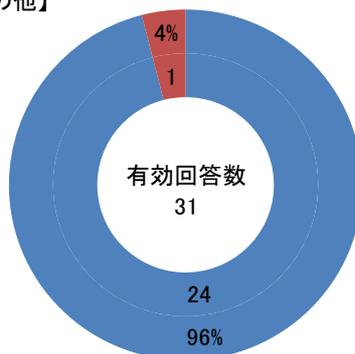
■ A: 理解できた
■ B: 理解できなかった

【地方自治体】



■ A: 理解できた
■ B: 理解できなかった

【その他】

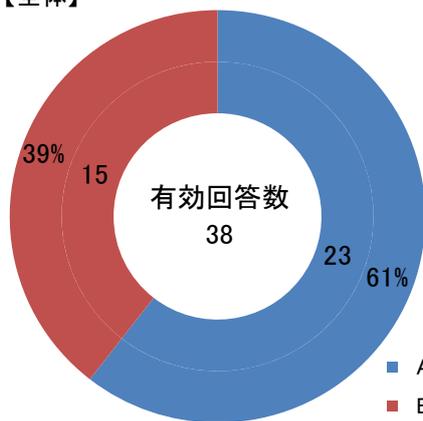


■ A: 理解できた
■ B: 理解できなかった

6-1. 発表された新技術説明が理解できなかった理由

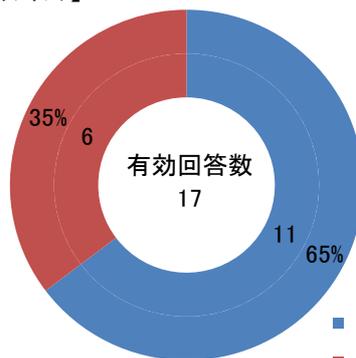
・新技術説明が理解できなかった理由として、「専門外の技術で理解できなかった」の回答が 61%を占める。

【全体】



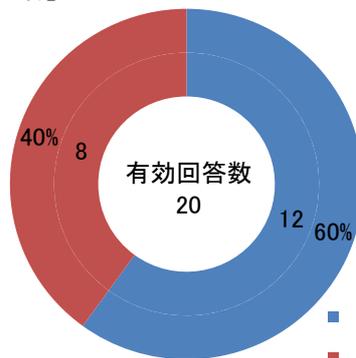
- A: 専門外の技術
- B: プレゼンの時間が短い
- C: その他

【コンサルタント】



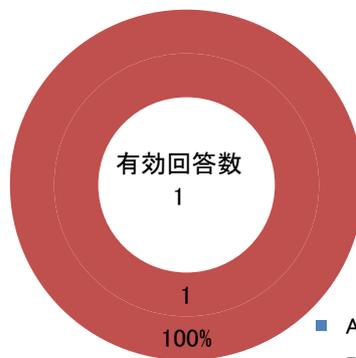
- A: 専門外の技術
- B: プレゼンの時間が短い
- C: その他

【施工者】



- A: 専門外の技術
- B: プレゼンの時間が短い
- C: その他

【その他】

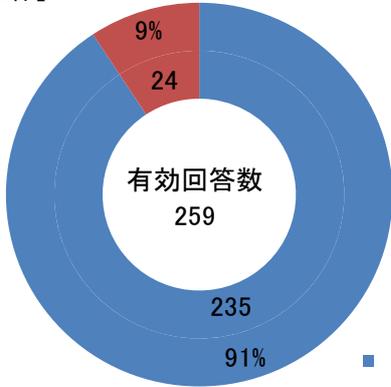


- A: 専門外の技術
- B: プレゼンの時間が短い
- C: その他

7. 発表者が登壇しない動画等による新技術の説明への理解度

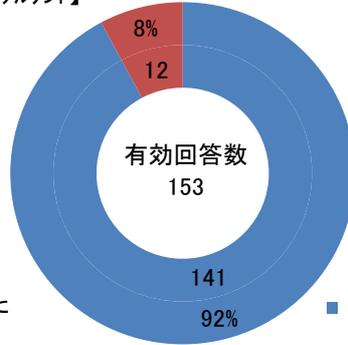
・動画等の上映は91%がわかりやすかったと回答している。

【全体】



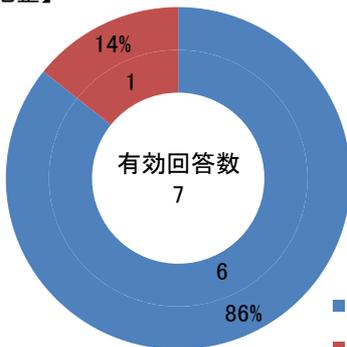
■ A: わかりやすかった
■ B: わかりにくかった

【コンサルタント】



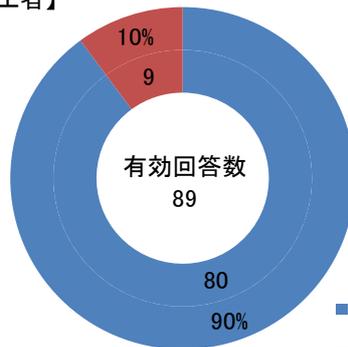
■ A: わかりやすかった
■ B: わかりにくかった

【九地整】



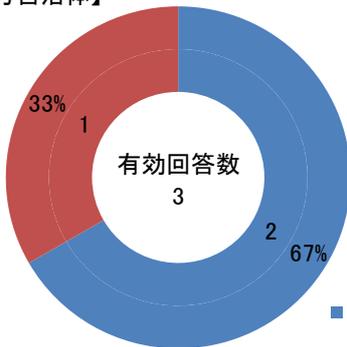
■ A: わかりやすかった
■ B: わかりにくかった

【施工者】



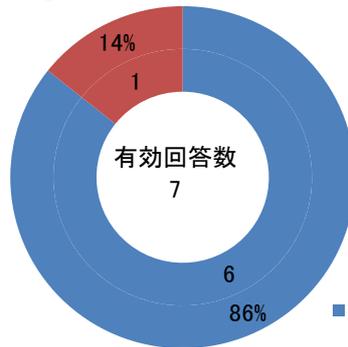
■ A: わかりやすかった
■ B: わかりにくかった

【地方自治体】



■ A: わかりやすかった
■ B: わかりにくかった

【その他】

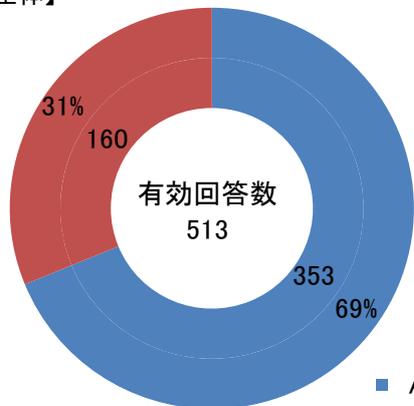


■ A: わかりやすかった
■ B: わかりにくかった

8. NETIS の検索

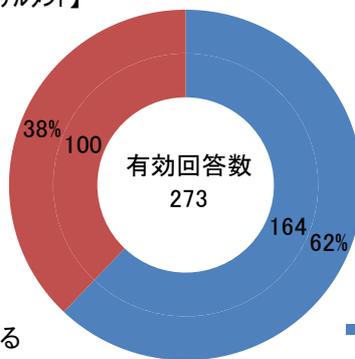
・ 69%の方が NETIS を活用し、技術の検索を実施している。例年 70%程度が活用している結果である。

【全体】



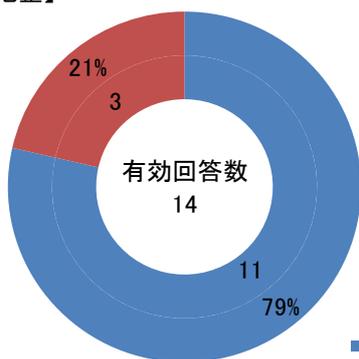
■ A: 検索したことがある
■ B: 検索したことがない

【コンサルタント】



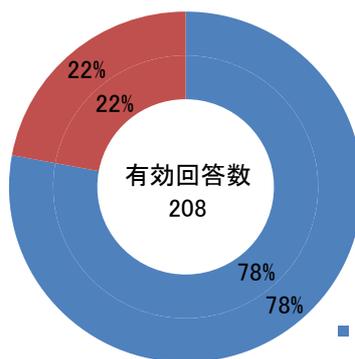
■ A: 検索したことがある
■ B: 検索したことがない

【九地整】



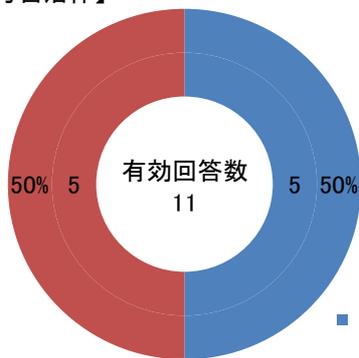
■ A: 検索したことがある
■ B: 検索したことがない

【施工者】



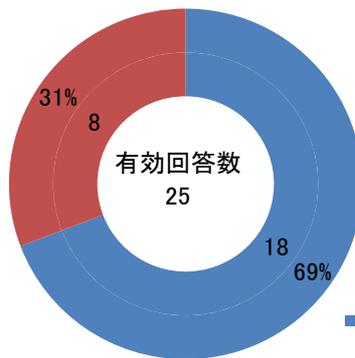
■ A: 検索したことがある
■ B: 検索したことがない

【地方自治体】



■ A: 検索したことがある
■ B: 検索したことがない

【その他】

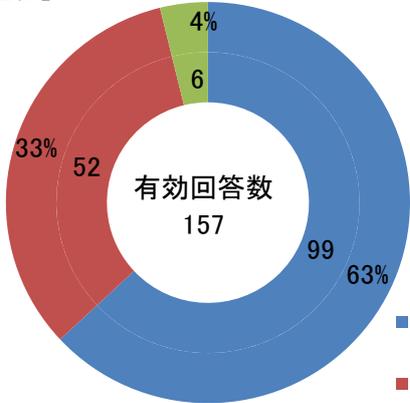


■ A: 検索したことがある
■ B: 検索したことがない

8-1. NETIS を活用し技術内容の検索を実施したことの理由

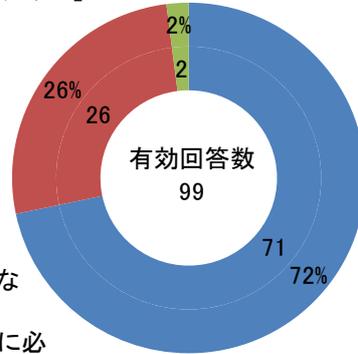
・検索を実施したことがないと回答した方のうち、実施したことがない理由として63%が「職務上必要がなかった」と回答している。

【全体】



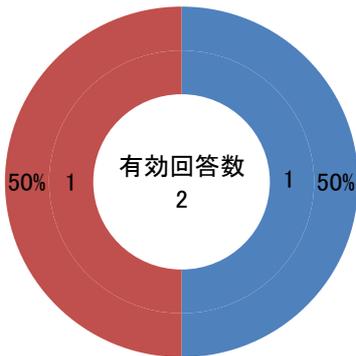
■ A: 職務上必要がなかった
 ■ B: 設計(施工)時に必要がなかった
 ■ C: その他

【コンサルタント】



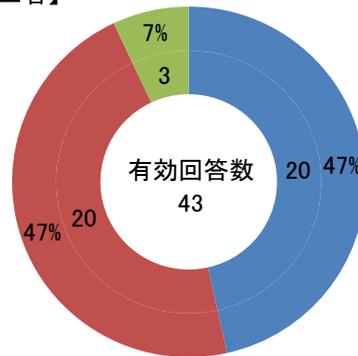
■ A: 職務上必要がなかった
 ■ B: 設計(施工)時に必要がなかった
 ■ C: その他

【九地整】



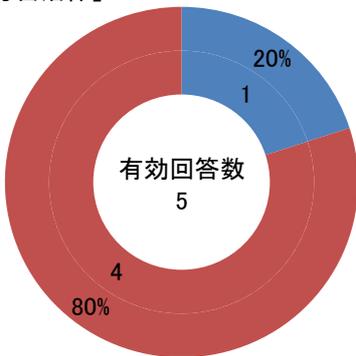
■ A: 職務上必要がなかった
 ■ B: 設計(施工)時に必要がなかった
 ■ C: その他

【施工者】



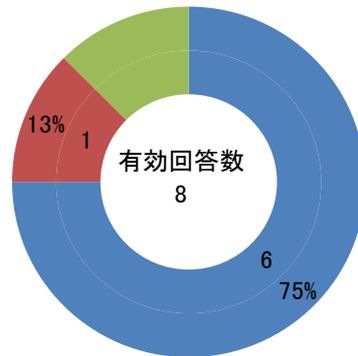
■ A: 職務上必要がなかった
 ■ B: 設計(施工)時に必要がなかった
 ■ C: その他

【地方自治体】



■ A: 職務上必要がなかった
 ■ B: 設計(施工)時に必要がなかった
 ■ C: その他

【その他】

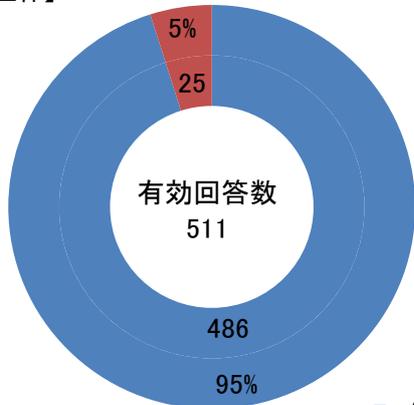


■ A: 職務上必要がなかった
 ■ B: 設計(施工)時に必要がなかった
 ■ C: その他

9. 今後の新技術 (NETIS) の活用

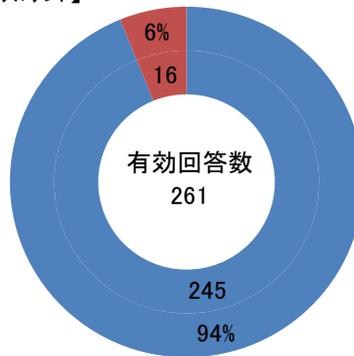
・ 95%の方が今後も、新技術 (NETIS) を活用したい結果となった。

【全体】



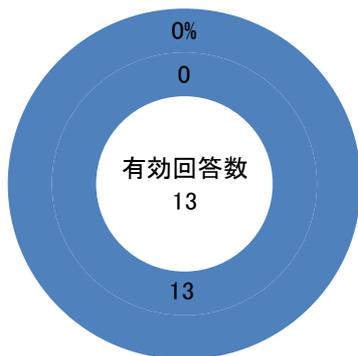
■ A: 活用したい
■ B: 従来技術でよい

【コンサルタント】



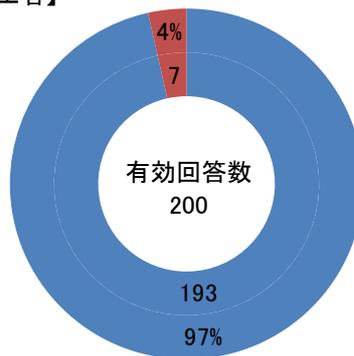
■ A: 活用したい
■ B: 従来技術でよい

【職員】



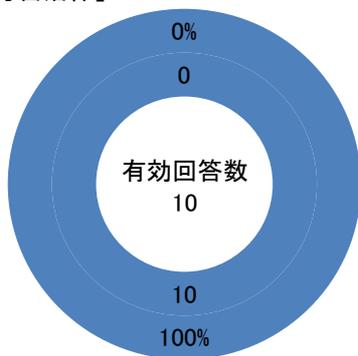
■ A: 活用したい
■ B: 従来技術でよい

【施工者】



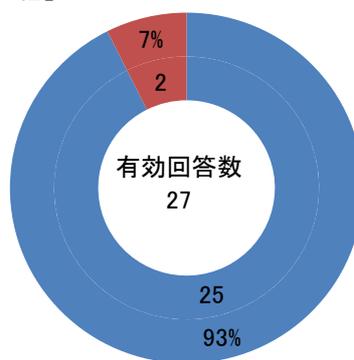
■ A: 活用したい
■ B: 従来技術でよい

【地方自治体】



■ A: 活用したい
■ B: 従来技術でよい

【その他】



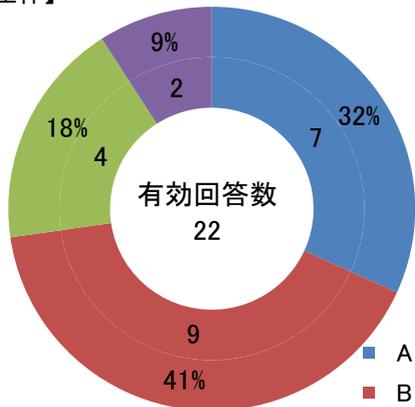
■ A: 活用したい
■ B: 従来技術でよい

9-1. 従来技術でよいと考える理由

(複数回答)

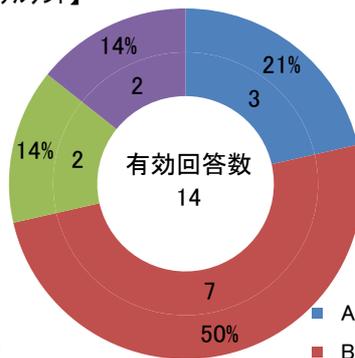
・ 従来技術でよいと回答した方のうち、「歩掛が明確でない」が41%となっている。

【全体】



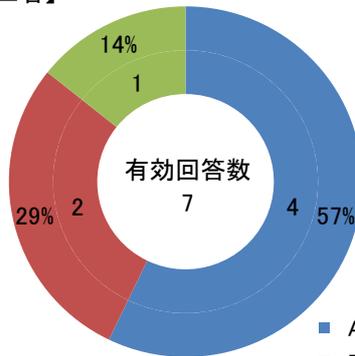
- A: 従来技術が安価
- B: 歩掛が明確でない
- C: 技術内容がわかりづらい
- D: その他

【コンサルタント】



- A: 従来技術が安価
- B: 歩掛が明確でない
- C: 技術内容がわかりづらい
- D: その他

【施工者】



- A: 従来技術が安価
- B: 歩掛が明確でない
- C: 技術内容がわかりづらい
- D: その他

【その他】

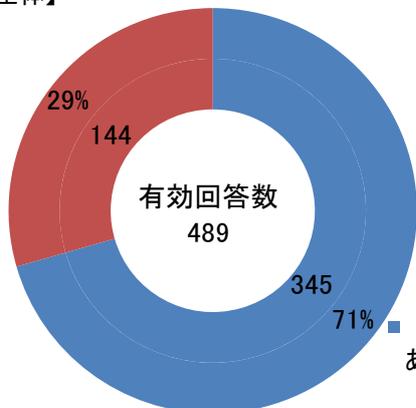


- A: 従来技術が安価
- B: 歩掛が明確でない
- C: 技術内容がわかりづらい
- D: その他

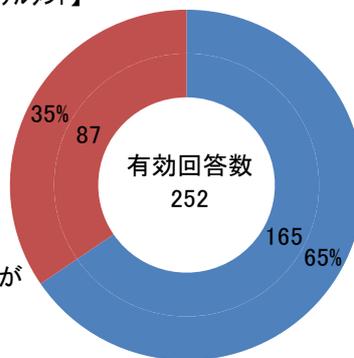
10. 発表された新技術の今後の活用

・「活用したい技術があった」の回答は71%であった。

【全体】



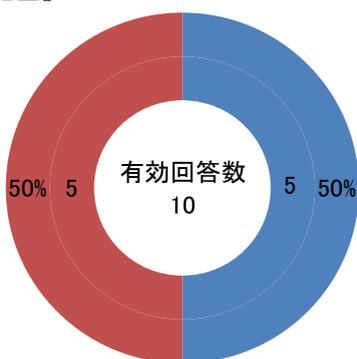
【コンサルタント】



■ A:活用したい技術があった
■ B:特になかった

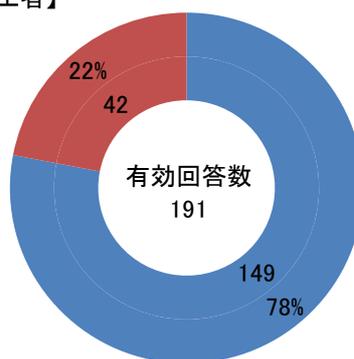
■ A:活用したい技術があった
■ B:特になかった

【九地整】



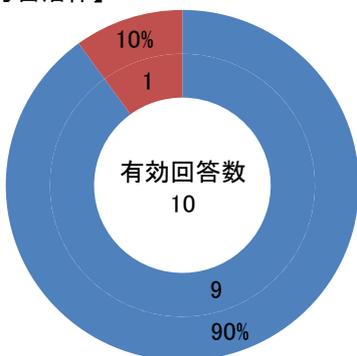
■ A:活用したい技術があった
■ B:特になかった

【施工者】



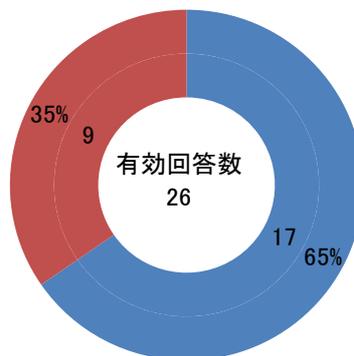
■ A:活用したい技術があった
■ B:特になかった

【地方自治体】



■ A:活用したい技術があった
■ B:特になかった

【その他】



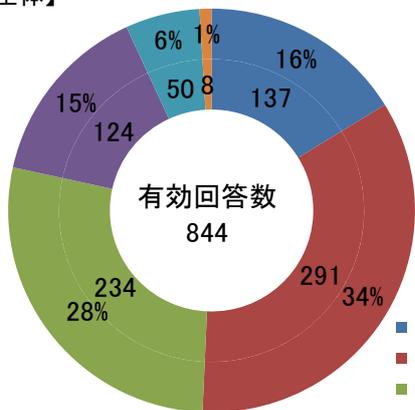
■ A:活用したい技術があった
■ B:特になかった

1.1. 説明会で今後、提供してほしい情報

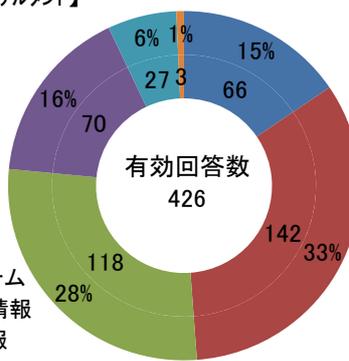
(複数回答)

・有用な新技術の情報が34%を占め、次いで新たな技術の情報が28%であった。

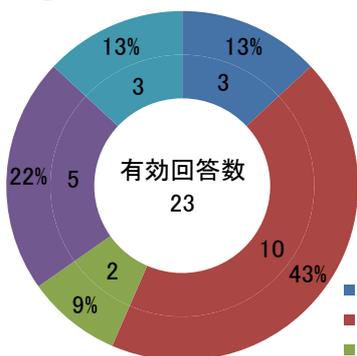
【全体】



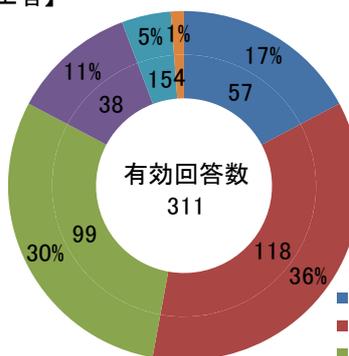
【コンサルタント】



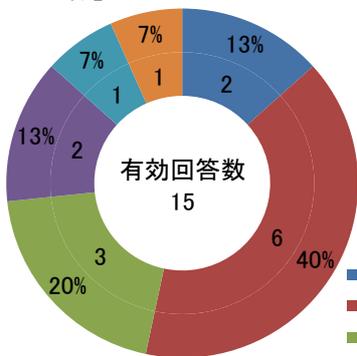
【九地整】



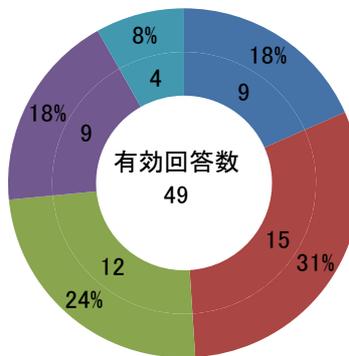
【施工者】



【地方自治体】



【その他】

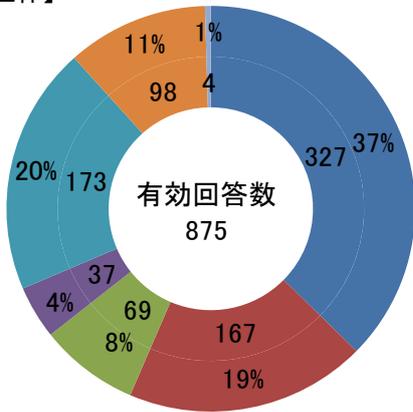


1 2. 情報提供を希望する技術のジャンル

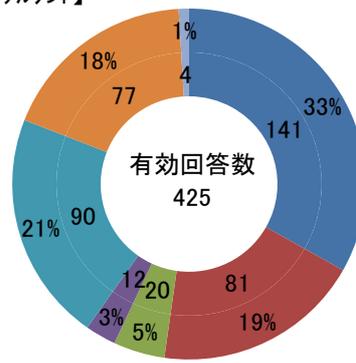
(複数回答)

・「施工」に関する技術が37%を占め、「システム」が20%であった。

【全体】



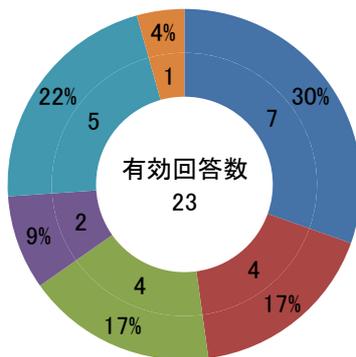
【コンサルタント】



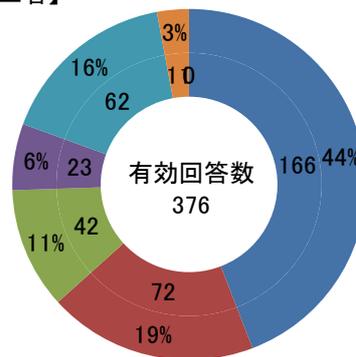
■ A: 施工
■ B: 材料
■ C: 機械
■ D: 設備
■ E: システム
■ F: 調査
■ G: その他

■ A: 施工
■ B: 材料
■ C: 機械
■ D: 設備
■ E: システム
■ F: 調査
■ G: その他

【九地整】



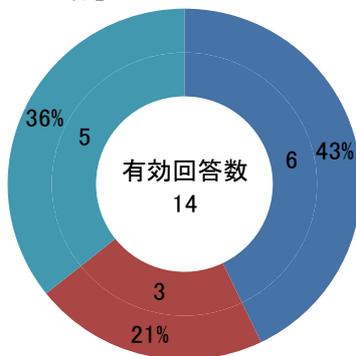
【施工者】



■ A: 施工
■ B: 材料
■ C: 機械
■ D: 設備
■ E: システム
■ F: 調査
■ G: その他

■ A: 施工
■ B: 材料
■ C: 機械
■ D: 設備
■ E: システム
■ F: 調査
■ G: その他

【地方自治体】



【その他】

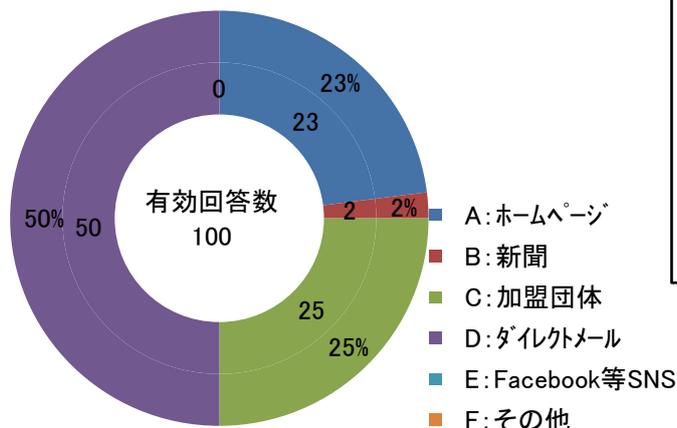


■ A: 施工
■ B: 材料
■ C: 機械
■ D: 設備
■ E: システム
■ F: 調査
■ G: その他

■ A: 施工
■ B: 材料
■ C: 機械
■ D: 設備
■ E: システム
■ F: 調査
■ G: その他

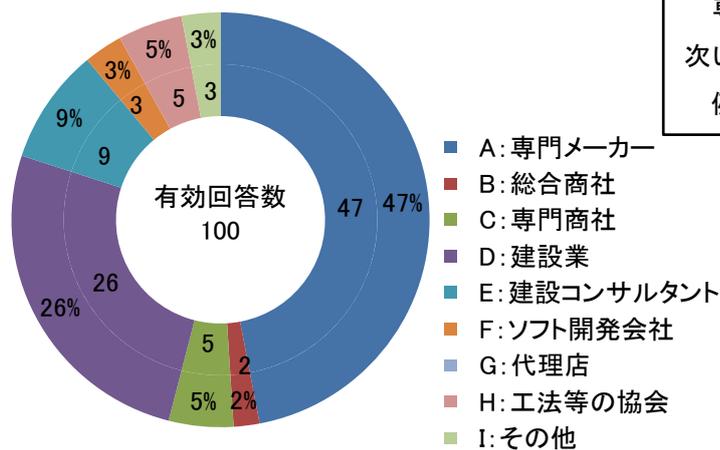
§ 3. 発表者アンケート調査結果

1. 募集情報の入手先



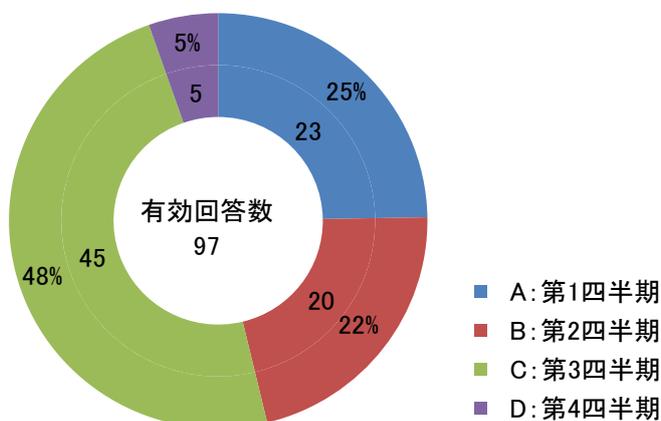
募集情報の入手先としてダイレクトメールが50%を占める。
募集情報の発信手段として、ダイレクトメール、各業界団体への働きかけは有効な手段と考えられる。

2. 発表企業の業種



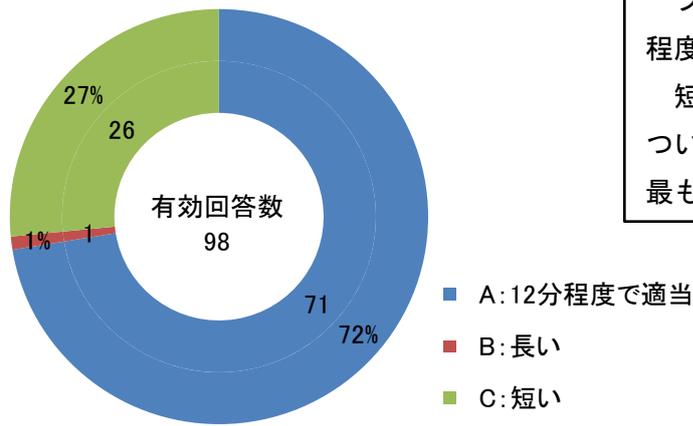
専門メーカーが47%を占める結果となった。
次いで、建設業が26%占める結果となった。
例年同様の傾向である。

3. 開催の時期



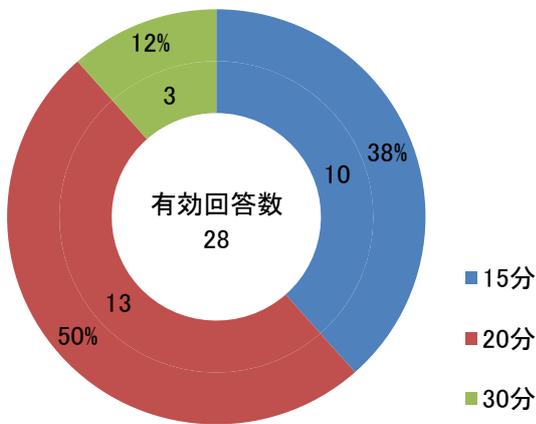
開催時期に関しては、48%が第3四半期の現行の開催時期を希望している。次いで、25%の第1四半期を希望している。

4. プレゼンテーションの時間

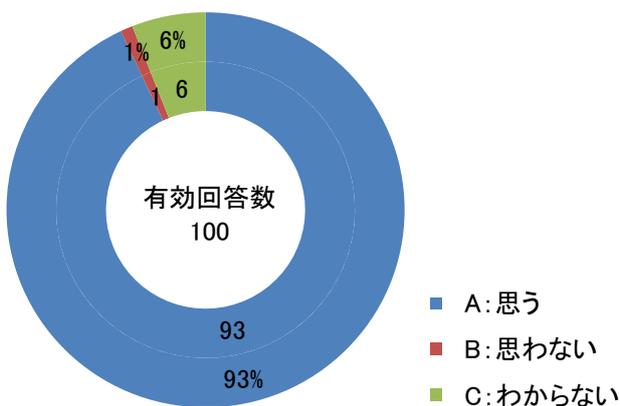


プレゼンテーションの時間は、72%が12分程度で適当と考えている。

短いと回答した27%のうち、適当な時間についての質問では20分の回答が50%を占め、最も多かった。



5. 今後の説明会への参加



今後の説明会への参加は、93%が希望している。